

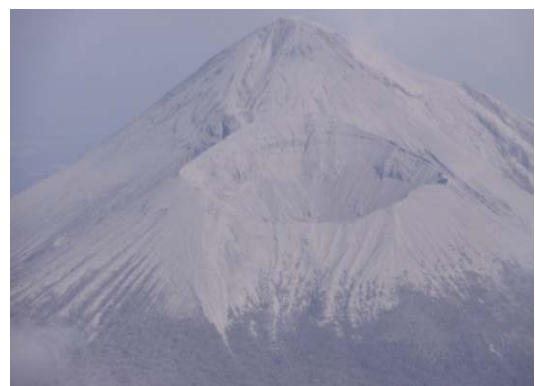
別紙-2-2 緊急調査の実施状況

- 平成23年1月27日、霧島山(新燃岳)が噴火活動を活発化。その後も活発な活動が継続し、**周辺の流域に降灰等が堆積**
- **降灰等の堆積状況を調査**するため、ヘリコプターによる上空からの調査及び地上からの調査を実施
- 調査により**降灰分布と降灰層厚を把握**すると共に、土石流のおそれのある溪流において**土石流氾濫シミュレーション**を実施。

火山噴火の発生

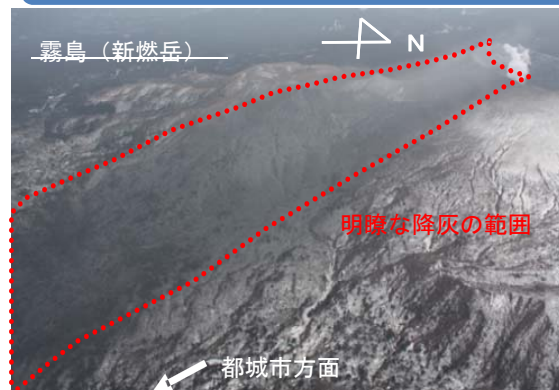


H23年1月霧島山(新燃岳)の火山噴火



山間部の河川の流域内に降灰等が広範囲に堆積し、降灰等の堆積を原因とする土石流の発生のおそれ

降灰等の堆積状況調査

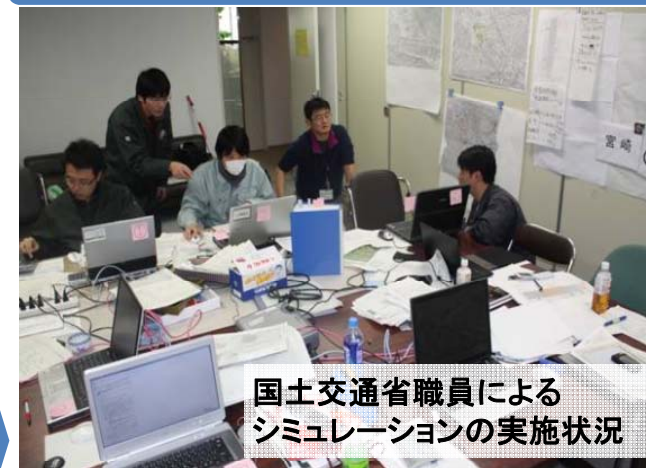


ヘリからの土石流危険溪流内における降灰等の堆積状況調査



地上からの降灰等の堆積状況調査

数値解析等による土砂災害緊急情報の作成



国土交通省職員によるシミュレーションの実施状況

■土砂災害緊急情報の作成にかかる動き

- ヘリによる上空からの降灰調査(H23.1.27)
- 地上からの降灰調査(H23.1.28~1.29)
- 降灰等の堆積を原因とする土石流のおそれのある溪流確認(H23.1.30)
- シミュレーションによる解析(H23.1.31~H23.2.3)



- 自治体へ情報提供(2/4)
- 雨量基準の変更情報提供(3/1)

別紙-2-3 土砂災害緊急情報の通知内容

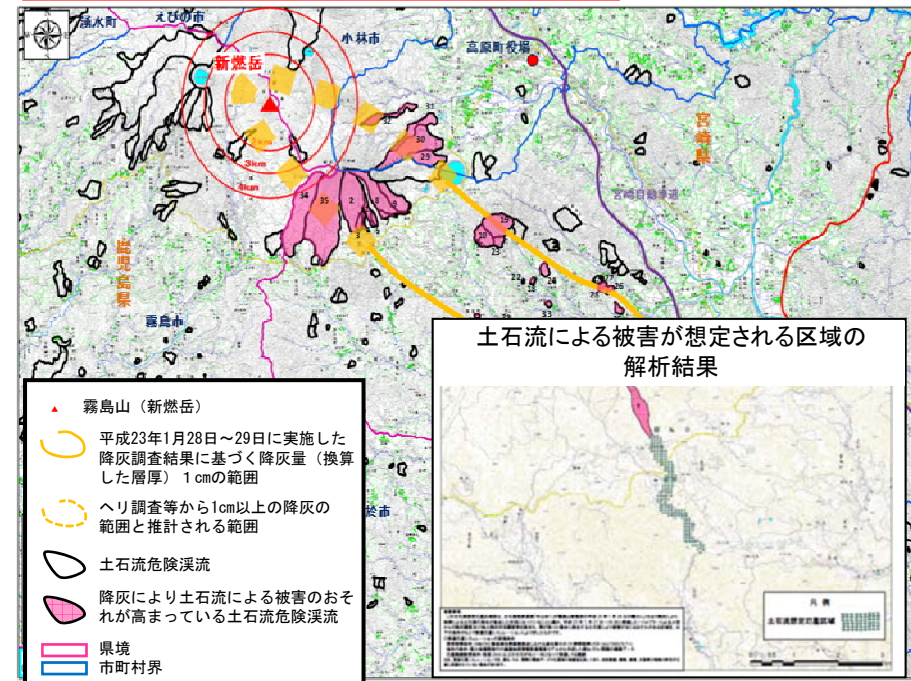
- 上記調査に基づき、降灰等により土石流による被害のおそれが高まっている土石流危険渓流を **35 渓流抽出**
- 抽出した渓流の土石流による被害が想定される区域をシミュレーションにより解析
- 避難のための参考となる被害が想定される区域及び被害が想定される時期に関する情報を県、関係市町に提供し、警戒避難対応を支援

降灰調査結果



降灰調査(1月28日)

土石流による被害が想定される区域



土石流による被害が想定される時期

避難の為の参考となる雨量基準

2/4時点 時間雨量4mm (平成12年三宅島噴火時の土石流発生実績を参考)

3/1時点 時間雨量10mm (2/4~2/28の降雨と土石流発生状況から設定)